

絵は得意じゃないんだけど…  
画材の事とかわからないし…

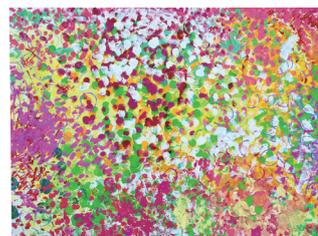
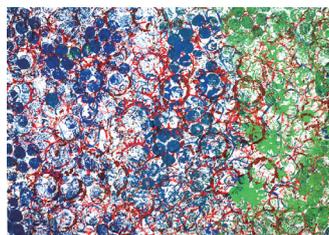
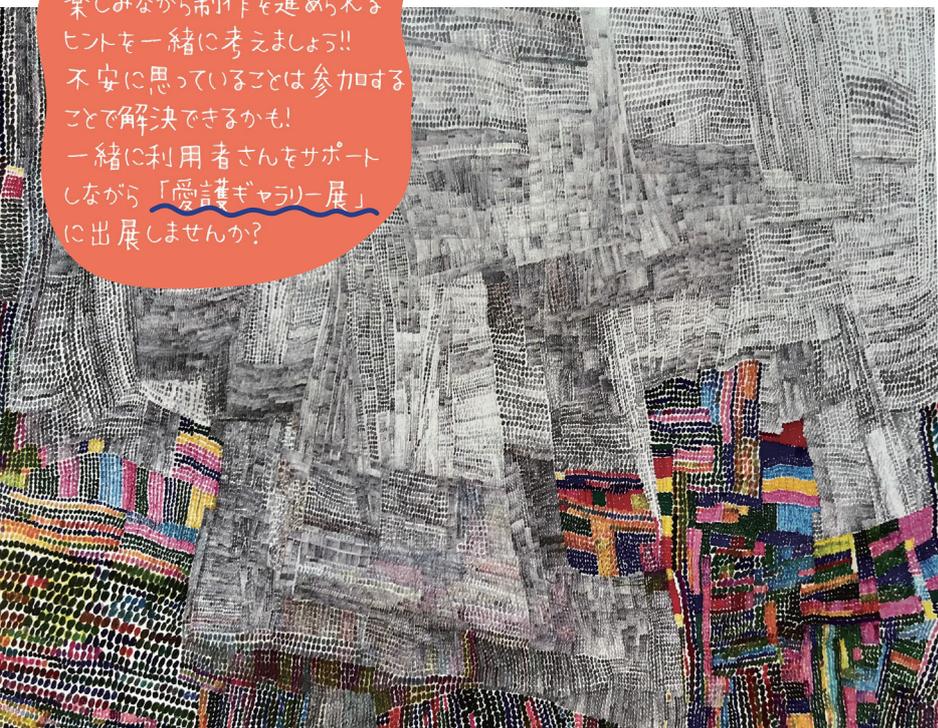


# アートでひろがる支援講座

～絵画療法を学ぶ体験型初級講座（全3回）～

大丈夫！！

楽しみながら制作を進めれる  
ヒントを一緒に考えましょう!!  
不安に思っていることは参加する  
ことで解決できるかも!  
一緒に利用者さんをサポート  
しながら「愛護ギャラリー展」  
に出展しませんか?



社会福祉法人見晴学園 絵画作品

眠らせたくない！

利用者さんの才能、支援員さんの可能性。

「アート」「絵画療法」というと、「絵心ゼロなのに、人に教えるなんて…」と尻込みしてしまうかもしれませんが、アート活動の支援に必要なスキルは、実は、日頃、障害のある方の支援をしている時のスキルと同じです。

利用者さんをよく観察し、なぜそうするのか、何が苦手で、どうしたらできるようになるか、どんな色、感触が好きかなどを想像し、その人に合った工夫や介助をします。現在、県内では、静岡県知的障害者福祉協会で養成された**9人の文化芸術活動コーディネーター**が活動していますが、そのコーディネーターが講師を務める「**アートでひろがる支援講座**」（2024年開始）では、自らが楽しみながら体験し、いろいろな画材や画法、工夫方法を学べます。

**日頃の支援のスキルを、少しバージョンアップ**できるのです。アートでひろがるのは、利用者さんの才能だけではありません。まずは体験してみてください。

生活支援員から、**絵画療法も支援できる生活支援員へ**。そして、利用者さんと二人三脚で「**愛護ギャラリー展**」入賞をねらいましょう!

「愛護ギャラリー展」とは➡



「アートでひろがる支援講座」は、毎年6月・10月・2月の全3回開講予定です。

／1回5時間。体験型で楽しく学べる！＼

「文化芸術」は、  
専門家のアート（美術、芸術）だけでなく、  
音楽、生活文化、地域の文化、国民娯楽など、身近なものも含まれます。  
障害者アート、アール・ブリュットと呼ばれるものもその一つ。  
その活動や作品は、その人の表現力、創造力を高め、  
見る人との心のつながりや、相互理解、多様性を受け入れる心を育みます。  
コーディネーター名に「文化芸術」という言葉を使用したのは、そんな思いからです。